

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる 自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> 主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。 社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。 	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる 自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ol style="list-style-type: none"> 数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている 社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている 社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている 	

授業日	11/20(水)	2学期授業回数	10回目 / 全11回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】①② <本時の具体的な目標> ①調査内容を確定し、先方へメール等に返信することができる。 ②フィールドスタディ先の関連情報を整理し、インタビューガイドを作成できる。		
時間 授業内容	0	スケジュール確認と導入 <ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも今日までに対象者にアポイントを取る。共有資料にあるメールの雛形を参考にする。 ・アポイントを完了した班は、事前調査をしていき、質問内容を確定させる。 ・「調査に協力できません」と返答されても、それが当たり前と考え、第2、第3の調査先にあたろう。 ・「事前に質問を送ってください」と言われたら対応する。半構造化インタビューの内容を思い出し、事前質問で概要を質問しつつも、当日ではより詳細な質問で深掘りしていく。 	
	5	グループワーク 1. 調査の依頼 1)進捗チェックリストに沿って、調査内容を具体化していく 2)アポイントメントのとり方[電話編]をもとに電話で話すことの下書きを書く。または、メールの書き方[依頼編](図1)をもとに調査依頼のメールを書く → 返信に再返信する 3) 担当の先生のチェックを受ける 4) 調査対象者に調査を依頼する 2. 事前調査をさらに深める →読んだら分かることは徹底的に調べる 3. 質問項目の確定 →当事者に聞くことによって明らかにしたいこと、深掘りしたいことを質問する	<div data-bbox="1082 741 1476 1010" data-label="Image"> </div> <p>図1)生徒は上記のような資料を参考にしつつ、調査依頼をしていく。電話よりもメールで依頼する班が多い印象であった。</p>
	50	担当教員にいつ・誰にインタビューするか報告する。 共有フォルダにある「研究計画書&調査一覧」(図2)に調査予定を入力する。	<div data-bbox="1034 1317 1476 1447" data-label="Image"> </div> <p>図2)「研究計画書&調査一覧」の一部。各班のインタビュー日時・場所・方法などを共有する。</p>
評価方法	① インタビュー調査を依頼し、日程調整や事前質問を自ら実践できる。 ② 事前調査を踏まえ、当事者に聞いて明らかにしたいこと、深掘りしたいことを考え、質問項目を確定することができる。		
宿題指示	調査依頼が終わっていない班は、調査依頼を完了する。また、関連情報を調査しつつ、インタビューガイドを作成する。		